

平成23年行政事業レビューシート(外務省)

事業名	海外邦人援護短期貸出金経費	担当部局庁	領事局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度開始	担当課室	海外邦人安全課	課長 一方井 克哉				
会計区分	一般会計	施策名	IV-2 海外邦人の安全確保に向けた取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第9項	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海外で盗難、紛失その他やむを得ない理由により所持金を失い、一時的に少額金銭の貸付を求める邦人渡航者及び大規模な災害やテロ等のために滞在費の調達ができなくなった邦人渡航者等に対し、家族や知人からの送金を待つ間、又は金銭の調達手段が回復するまでの間、在外公館において、滞在に必要な最低限の費用の貸し出しを行うために必要な経費。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(イ)海外において邦人が盗難被害、紛失その他やむを得ない事情で所持金を失い、本邦家族・知人等からの送金を待つ間のつなぎ資金が必要である、又は送金等の手段により金銭を得ることができない等の理由により、一時的な滞在費の貸付を在外公館に求めてきた場合、必要最少限の滞在費を短期間貸与し、当該国民を援護する必要がある。 (ロ)大規模な自然災害やテロ事件等による銀行等の機能麻痺等から、一時的に金銭の調達が不可能となることがあるが、このような場合には、交通機関の運行休止等により短期渡航者が滞在延長を余儀なくされ、不測の滞在費が必要となる可能性もある。また、邦人が自然災害やテロ事件の被害者となった場合には、緊急に医療費が必要になることも想定される。このような緊急事態が発生した場合、通常の金銭調達手段が回復するまでの間、少額の滞在費、生活費、医療費を当該邦人に貸し付ける制度を整備しておく必要がある。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☒ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	30	30	30	25	25	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	30	30	30	25	25	
	執行額		6	10	5			
	執行率(%)		21.2	30	18.3			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	海外で困窮した邦人に対する一時的資金の貸付け。	成果実績	件	180	277	177	150	
		達成度	%	100	100	100		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	海外で困窮した邦人に対する一時的資金の貸付け。	活動実績 (当初見込み)	件	180	277	177	— (150)	
単位当たり コスト	(50,000円/1貸付案件)		算出根拠	本件制度は、1貸付案件、原則上限5万円を貸し付ける制度。				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	海外邦人援護短期貸出金	25,000	25,000					
	計	25,000	25,000					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	●海外邦人援護短期貸出金を在外公館にて貸し出す際に、貸付申請者と在外公館長とで契約を結び、右契約に則り現金を貸付しており、右手続きにおいて、本人確認及び連絡先、資金が必要となった経緯、右資金をどのように使用するか等を確認している。 ●近年、年間約1,600万人が日本から海外へ渡航するようになり、右渡航者数の増加にともない、海外で盗難被害やその他様々なトラブルに遭遇する邦人渡航者は少なくない状況にある。海外にてトラブル等により所持金が不足した邦人に対し、日本からの送金を待つ間や送金を待ついとまのない場合に必要最低限の滞在費等を貸付することは、海外でトラブルに巻き込まれた国民に対する必要な支援であることから、今後も円滑な貸出し及び貸付金の回収を促進する必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

外務省
5百万円



貸付申請者

177件 5百万円
困窮者への貸付

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	邦人A	資金の貸付け	0.1		
2	邦人B	資金の貸付け	0.1		
3	邦人C	資金の貸付け	0.1		
4	邦人D	資金の貸付け	0.1		
5	邦人E	資金の貸付け	0.1		
6	邦人F	資金の貸付け	0.1		
7	邦人G	資金の貸付け	0.1		
8	邦人H	資金の貸付け	0.1		
9	邦人I	資金の貸付け	0.1		
10	邦人J	資金の貸付け	0.1		